

令和5年度第3回京田辺市社会教育委員会 会議要旨

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) 活動報告について

第65回全国社会教育研究大会宮崎大会及び令和5年度京都府社会教育研究大会に参加した委員が報告を行った。

(2) 山城地方社会教育委員連絡協議会研修会について

資料の概要について、事務局が説明

(3) 京田辺市の社会教育について

資料の概要について、事務局が説明

(委員) コーディネーター登録制度を市が進めて欲しい。コーディネーターの資格を持っていてもそれを生かす場がない。

(委員) 今必要としているコーディネーターは、地域の有力人材、子どもに生涯学習を教えてくれる人材、各団体との調整、人集めができる人等行政とのパイプ役ができる人

(委員) コーディネーターは各小学校校区に一人程度必要。何をやつたらよいかわからない人では困る。ちゃんとした制度を作り、行政とのパイプ役になることで制度が生きてくる。

(委員) PTA経験者は学校に通うことで先生の大変さを理解する。PTA役員は保護者でなければならない枠は外してはどうか。子育てを一段落した人に手伝ってもらっても良い。

(4) 京田辺市複合型公共施設整備基本構想について

資料の概要について、事務局が説明

(委員) 史跡資料館（京田辺市の歴史のわかるところ）を作つて欲しい。

(委員) 京田辺市の食文化を学べる、発信できる食堂を作つて欲しい。

(委員) 京田辺市の観光文化を発信する場（観光施設）を入れてはどうか。

(委員) 今の中央公民館はあまりにも粗末。もう少し充実したものにして欲しい。

4 その他

京田辺市複合型公共施設整備基本構想に対するご意見があれば提出するよう依頼。

5 閉会 副委員長あいさつ